

### JHF 教員・助教員 教習実技検定 採点表

下記A群・B群より各1問ずつ選択し、1問10分程度で講義を行う。  
平均点3.5以上で合格とし、1つでも1点があれば不合格となる

講習実技 A群		①	②	③	④
1	ウインドグラジェントとはどのような現象か？ 飛行に及ぼす影響は？				
2	ポーラーカーブの説明と、フライト中の状況に応じた活用方法				
3	パラグライダー公認大会の競技種目及びその内容について				
4	エアールールについての説明				
5	失速の定義と起こりうる状況、回復方法				
6	上昇気流の発生とメカニズム、フライトにおける影響				
7	局地風の種類とその説明				
8	気温減率の説明とフライトに及ぼす影響				
9	レスキューパラシュートの使用時の説明とメンテナンスについて				
10	ENのグライダー認証について				
講習実技 B群		①	②	③	④
1	初高高度フライトの講習生に対する事前説明				
2	ピッチングを試みるが上手く動かせない講習生に対する説明と注意点				
3	強い上昇気流から回避する方法と注意点				
4	パラグライダー片翼潰し30%の方法と注意点				
5	スパイラルを指導する上での練習方法とその必要性について				
6	ローリング練習の事前説明(EN-Aクラス使用)				
7	テイクオフで飛び乗る講習生に対する矯正方法について				
8	ランディングでケツランする講習生に対する矯正方法について				
9	アクセルの使用の有用性と操作、そのメカニズムについて				
10	自分の経験上、講習生の起こしがちな失敗例とその対処法について				

5点	教員として素晴らしい
4点	すこし問題はあるが教員として相応しいものであった
3点	やや改善が必要であり、助教員レベルである
2点	対応に問題があり教員としては不適切なものであった
1点	指導するに相応しくないものであった。

評価項目(5段階評価)	
①	内容を正しく理解しているか
②	説明は明確か
③	話し方(早さ、声量、視線)
④	質問に対して明確な回答か

## JHF 教員・助教員 教習実技検定 採点のポイント

講習実技 A群	採点のポイント
1 ウインドグラジェントとはどのような現象か？ 飛行に及ぼす影響は？	ランディングの注意事項、斜面での注意事項、フライトへの影響、他
2 ポーラーカーブの説明と、フライト中の状況に応じた活用方法	水平速度と沈下速度の凶解、最良滑空速度、最小沈下速度、翼面荷重の影響、風向風速に合わせた速度の使い分け、他
3 パラグライダー公認大会の競技種目及びその内容について	ローカル、JHF後援、公認、リーグ、日本選手権、世界選手権、FAIカテゴリー1、2、PWC、XC、アキュラシー、デュレーション、他
4 エアールールについての説明	原則、同一機種の場合、異機種の場合、ルールとマナー、他
5 失速の定義と起こりうる状況、回復方法	定義、失速時の挙動、回復動作、失速の予知、他
6 上昇気流の発生とメカニズム、フライトにおける影響	リッジ・サーマルの原理、日射、地形、風、大気の安定度、乱流と潰れ、他
7 局地風の種類とその説明	海風・陸風、山風・谷風、日射と夜間の冷却、陸地と海、サーマルブローと吹き下ろし、他
8 気温減率の説明とフライトに及ぼす影響	乾燥/湿潤断熱減率、エマグラム、1℃、0.6℃、安定と不安定、逆転層、積雲、積乱雲、他
9 レスキューパラシュートの使用時の説明とメンテナンスについて	装着とセッティング、プレフライトチェック(ピン抜け確認)、シミュレーション、投げる方向、リパック、他
10 ENのグライダー認証について	PGに限らないENの概要、PG関連基準の種類、最小最大重量でのテスト、A～D、F、他

講習実技 B群	
1 初高高度フライトの講習生に対する事前説明	プレフライトチェック、機材の確認、無線機、パラシュート、エアールール、コース取り、LDアプローチ方法、他
2 ピッチングを試みるが上手く動かせない講習生に対する説明と注意点	翼とパイロットの位置関係の説明、引く量よりタイミング、引きすぎ、引く速度、場所と高度、他
3 強い上昇気流から回避する方法と注意点	雲との位置関係、風向風速、緊急高度処理をする状況、種類と注意事項、他
4 パラグライダー片翼潰し30%の方法と注意点	目的、実施注意事項、安全の確保、回復動作の注意事項、他
5 スパイラルを指導する上での練習方法とその必要性について	周囲と下方向の確認、導入、維持、離脱、外翼コントロール、緊急降下が必要な場面、他
6 ローリング練習の事前説明(EN-Aクラス使用)	速度の維持、軸線、体重移動、ブレークの引きと戻し、止め方、他
7 テイクオフで飛び乗る講習生に対する矯正方法について	速度と揚力、翼とパイロットの位置関係、グラハン、緩斜面での加重練習、他
8 ランディングでケツランする講習生に対する矯正方法について	ファイナルアプローチの重要性、スタンディングフォーム、ブレークとピッチコントロール、他
9 アクセルの使用の有用性と操作、そのメカニズムについて	対気速度と対地速度、対地滑空比、踏み込み量、長さの調整、迎角の変化、他
10 自分の経験上、講習生の起こしがちな失敗例とその対処法について	本人の経験談。知識の正確さ、講習生への説明内容と方法、他